

# ペタニア たより

社会福祉法人 政樹会 ケアハウス・デイサービスセンター サービス付き高齢者向け住宅

**呉ベタニアホーム** **呉ベタニアホーム長迫** **ハレルヤ**  
 tel:0823-26-8844 tel:0823-23-2003 tel:0823-32-5980



「ひろしまの国保 5月号」に掲載されました

高校3年生の時、奨学金を受ける人の名前が発表される日のごです。ラルフさんは、成績が良かったので、自分の名前が呼ばれることを確信していました。ところが、名前を呼ばれなかったのです。この事によって、自分の心を穏やかにしてはいただけなくなりました。自分が黒人であることで受けた差別を思い起こしたからです。

そうした時に、お母さんの言葉を思い起こしたのです。「亡くなる前のあの言葉「信仰と希望と愛」を思い起こし、怒りを鎮め、神様にお祈りをしました。後に、ラルフさんは、国連の創設

ラルフ・パンチさんは、12歳の時、お母さんが病気で亡くなりました。亡くなる前、お母さんは「ねえ、ラルフ、どんなに辛い時も、絶対に『信仰と希望と愛』を忘れてはダメよ、いいー」と言い残しました。それから数週間後、お父さんが亡くなりました。その後、おばあさんに引き取られ、中学、高校へと進みました。



インマヌエル  
 呉教会牧師  
**内山 忠信**  
 (常務理事)

## 心を支える言葉

平熱の低い私が、最近38度台の熱が続いた。そのため終日、床に伏していた。夢をよく見た。今の私位の歳で亡くなった両親が、若く元気な姿で看病してくれている夢。テストに焦り、仕事に負われる夢など…今は年金生活者なのだと安堵する一方で、現在の自分に「反省しきりである。気になる夢があった。刺青をした男衆と混浴中の私。」「ネーさん。わしらは高齢の人のことは気にもしていないが、もっと体操して、体を造ってはどうかね?」と言った。ぞっとして夢から覚めた。毎月一回、ベタニアホームで十数人の人達が祈り会をしている。祈り会后、ジョン・バンヤン著『天路歷程』の読書会で、私は「多弁氏」と呼ばれている登場人物の事が気になって頭から離れない。この人物は神様や聖書について話すのが好きな如才のない人。ところが近づいて交わってみると、取り引き相手を騙したり、出し抜いたりする。信仰の話をするので満足して、祈りもなければ悔い改めもない。

私は「多弁氏」を反面教師に考えて、賜った生命を生きようと思っている。

こまった時に思い出される用がすめば、すぐ忘れられるぞうきん  
 台所のすみに小さくなり  
 むくいを知らず  
 朝も夜もよこんで仕えるぞうきんになりたい

この詩は「ぞうきん」という詩です。作者は、河野進牧師です。

「ぞうきん」という詩から、お互いの人間関係、仕事のあり方、互いに支え合って生きる心構えを教えられます。

人生には出会いがあります。その出会いは偶然のことではありません。出会いを大切に、良き関係を築きたいものです。

お互いがもっと相手を思いやり、必要な時に助け合う、そのような愛の心に満ちた社会となったら、どんなに幸いでしょうか? まずは、今置かれた所で「ぞうきん」の心を実践したいものです。

夢

児玉 雪江

日々の歩みの中で

**告知** 2017年5月、  
**レーナ・マリアコンサート開催**



会場: 呉文化センター  
 開催日: 5月27日(土)  
 入場料: 2,500円

日本キングス・ガーデン連合、いのちのことば社との共催で、レーナ・マリア コンサートを開催します。

レーナ・マリアさんは、日本でコンサートや本を通して、多くの人に、「夢と希望と勇気」を与えて来ました。来年5月、レーナ・マリアさんが呉に来て下さいます。今から楽しみにしてお待ち下さい。

社会福祉法人 政樹会 <http://www.bethania.or.jp/>

〒737-0045 広島県呉市本通4丁目3-21 理事長 佐藤孝義